

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

磯子駅周辺は、公共施設や医療機関、スーパーなどの商業施設があり便利です。しかし、中高層住宅等では高齢者の孤立が目立ち、医療・食事・生活環境・経済的困難等の問題が多くみられます。  
 駅から離れた丘陵地は、景観が良く、静かな住宅地が広がっています。しかし、公共交通の便が悪く、医療機関や商業施設が不足しているため、外出や買い物等の生活課題があります。  
 子どもに関しては、「子ども食堂」や区の事業である寄り添い型「学習支援事業」を通し、貧困・孤食などの問題が明らかになってきたため、新たな子どもの居場所づくりを支援します。  
 また、更なる地域活動を推進するために、地域での見守りや介護予防、認知症予防、居場所づくりに努めていきます。そのための担い手支援も行います。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	塾に通えない子どもを中心に、学習支援を主な目的とした、放課後の居場所を作る。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	丘陵地での介護予防教室の開催
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・「シニアボランティアポイント登録会」を行い、登録と同時にボランティア活動に参加してもらえるように、ボランティア活動団体の紹介を行い、担い手を増やしていく。 ・12月に地域サロンの担い手対象に「たのしいサロンづくり講座」を実施
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動の支援 ・「お弁当お届け隊」の配食サービス ・サロンでの出前講座 ・町内会での「支え合い助け合い活動」の推進 ・「高齢者の見守りポイント」を活用し、地域での見守り活動の推進
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の方が外出時に、体調の急変やケガ等にあった場合、必要な情報を必要な機関に迅速に情報提供するための「こすもすホルダー」の普及

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は、地域のボランティアを中心とした『子育て支援』がさらに広がりました。子ども食堂に加え、学習支援もスタートし、『居場所』としての役割も果たしてきました。多くの子ども達に支援が届くためには、さらなるボランティアの確保が必要となります。  
 子育て支援に限らず、各事業においてもボランティアの協力が不可欠であるため、興味のある方には、活動団体を紹介するとともに、地域で活躍されている担い手同士の交流を図るための講座を開催しました。今後も、『担い手支援』に力を入れていきます。  
 『介護予防』に関しては、地域の状況に合った、介護予防、認知症予防に取り組める『居場所』として、「介護予防教室」の実施に取り組んできましたが、今後も開催を継続していきます。  
 また、『見守り』に関しては、「お弁当お届け隊」「高齢者の見守りポイント」「こすもすホルダー」を中心に、地域に積極的に向き、地域の方とも連携し推進してきましたが、引き続き連携に努め、それぞれの事業の充実を図っていきます。

区からのコメント

地域のニーズをとらえて、具体的な動きを含めた先を見据えた展開をしていただいています。地域のなかで、活動のすそ野を広げていくためにはきっかけ作りや時間をかけた意識醸成が必要になります。来年度は、地域福祉保健計画の策定のため、今後の推進考えながら、幅広い担い手の育成が出来るよう、集まりの機会を1つのきっかけとして活用できるように一緒に取り組んでいけたらと思います。また地域全体で推進が出来るように、引き続きの普及啓発をよろしく願います。また、地域ケアプラザ全体で、地区診断をコミュニティズパートナーモデルで行い、職種間で連携し、地区活動、個別支援、事業を展開されています。  
 今後も、課題を整理、共有しながら、優先度を決め、取り組んでいただきたいと思います。